

滋賀県大会要項

1. 大会スローガン

つなごろう 今、つなげよう 未来へ
 ～すべては子どもたちの笑顔のために～

2. 大会趣旨

社会基盤や生活環境が日々向上し、様々な情報が瞬時に手に入れることができる今の状況において、私たちは子どもたちに心を寄せていっばいの愛情を注ぎながら日々の子育てに奔走しています。そうした中で子どもたちの笑顔や成長した姿を見る時は、親として心から大きな喜びを感じる瞬間ではないでしょうか。

またその反面、情報化社会特有のインターネット上における人間関係のトラブルや友達間におけるコミュニケーション不足が一因となるいじめなどの諸問題等、価値観の多様化に伴う保護者間および学校とのトラブルなどが様々な形で顕在化してきています。これらの問題に私たちはどのように対処していけばいいのか、不安と悩みが解消されない現状にあります。

そこで私たちがいつも子どもたちの笑顔が溢れる社会を創るためには、人と人、組織と組織が結びつきを深め、お互いを理解し思いや情報を共有し、数々の諸問題に対処していくことや様々な活動を実践していくことが重要だと考えます。そしてこうしたつながりを持続的な協働関係として未来に向けてしっかりとつなげていくことが大切なことではないでしょうか。

滋賀県では「つなごろう 今、つなげよう 未来へ」を大会スローガンとして、子どもたちの笑顔をいっばい集める P T A 活動が近畿各地で実践されることを願い、本研究大会を開催いたします。

3. 主催 近畿ブロック P T A 協議会 滋賀県 P T A 連絡協議会

4. 後援 文部科学省 公益社団法人日本 P T A 全国協議会 滋賀県 滋賀県教育委員会
 (予定) 奈良県教育委員会 大阪府教育委員会 和歌山県教育委員会 兵庫県教育委員会
 京都府教育委員会 京都市教育委員会 神戸市教育委員会 大阪市教育委員会

5. 参加者 近畿ブロック P T A 協議会会員 約 1,800 名

6. 会期 平成 27 年 11 月 6 日 (金)

7. 会場 全体会 **びわ湖ホール**
 分科会 **大津プリンスホテル**

8. 参加費 3,000 円 (資料・昼食代込)

9. 日程 (予定)

9:00 9:30 10:45 12:30 14:00 16:00

	全体会 びわ湖ホール	移動	分科会 大津プリンスホテル
受付	アトラクション 開会式 表彰式	昼食 (分科会会場)	コンベンションホール 6 会場



10. 記念講演

演題 「文字の力 言葉の力 生きる力」

講師 武田 双雲 氏 (書道家)

経歴 1975 年熊本生まれ。
 東京理科大学卒業後、N T T に就職。
 約 3 年後に書道家として独立。

N H K 大河ドラマ「天地人」や世界遺産「平泉」世界一のスパコン「京」など数々の題字を手掛ける。
 独自の世界観で、全国で個展や講演活動を行っている。
 メディア出演も多数。

主宰する書道教室には約 300 名の門下生が通う。(2005 年新規募集締切)
 2013 年度文化庁から文化交流使に任命され、ベトナム～インドネシアにて活動するなど、世界各国から様々なオファーが絶えない。
 作品集「たのしか」「絆」「ポジティブの教科書」など、著書は 30 を超える。



公式 HP : <http://www.souun.net/>
 公式ブログ【書の力】 : <http://ameblo.jp/souun/>

11. 分科会

分科会 領域	研究課題	担当 協議会	会場 参加人数
第1分科会 組織・運営	P T A 活動をより活性化していくために、組織間の情報交換や情報共有の機会を増やしていく必要がある。市町 P T A や校団 P T A どうしのつながりを大切にしたいサポートや連携のあり方、組織の運営について考える。	滋賀県 京都府	淡海2 240
第2分科会 生涯学習	生涯を通じて学び、成長するために、P T A は絶好の機会である。親としての力を高めることにより、子どもたちの育ちがより健やかなものになるようにつなげることが必要である。親力がより高まる活動のあり方を考える。	奈良県 大阪市	淡海3 240
第3分科会 人権学習	子育てをしていく環境が複雑に変化する中、「いのち」の大切さを基本とし、親が他者とのつながりを深め、より良い人間関係を築いていくことの重要性を考える。	大阪府 神戸市	淡海5 240
第4分科会 青少年健全育成	青少年をとりまく社会環境が非常に厳しい昨今、それに伴わない家庭での教育の役割は大きく、健やかでたくましい心を持った青少年の育成のため、私たち P T A が何をすべきか考える。	和歌山県 京都市	淡海6 240
第5分科会 広報活動	P T A 情報は会員のみでなく、地域社会にも発信することにより、地域からの認知度を高める必要がある。情報の伝達手段が多様化する中で、必要な情報をタイムリーまたは確実に共有できる広報のあり方を考える。	兵庫県 滋賀県	淡海7 240
特別分科会	「子どもたちの笑顔あふれる社会」を実現していくために、P T A 活動の役割は重要である。現在の子どもたちは自己肯定感が低いと言われ、大切な笑顔を忘れてしまっているのではないだろうか。子どもたちの自己肯定感を高め、笑顔あふれる子どもたちを増やすために、一番そばにいる大人のできる事を考える。	滋賀県	淡海8・9・10 600